

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 28 年度第 2 回高松市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	平成 29 年 2 月 17 日(金) 10 時 00 分 ～ 11 時 40 分
開 催 場 所	高松市役所 11 階 職員研修室
議 題	(1) 高松市災害廃棄物処理計画の策定について (2) 高松市一般廃棄物処理基本計画について (3) 水銀添加廃製品回収モデル事業について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	12 人 生嶋暹、岩部旻、上原加代江、葉島由紀子、篠田大輔、諏訪幸子、高橋一成、古川尚幸、古川由美、細谷芳久、松山千恵子、龍満美廣
欠 席 委 員	1 人
傍 聴 者	0 人 (定員 10 人)
担 当 課 及 び 連 絡 先	環境総務課 (TEL839-2388)

審議経過及び審議結果

(1) 高松市災害廃棄物処理計画の策定について

(事務局説明)

(委員)

計画中に、「非常災害」という言葉が使われている。「地震」や「津波」ではなく、「非常災害」といった言葉を使用しているのはなぜか。

(事務局)

「非常災害」は廃棄物処理法の中に使われている法律用語。

(委員)

計画に、簡易トイレ等の備蓄等に関する記載がある。この計画とは別に、高松市では、3か年で調達する備蓄目標量を設けた計画を策定しているが、これらは同じものか。

(事務局)

当計画では、災害時のし尿発生見込量等から、仮設トイレ・簡易トイレの必要数を算出している。簡易トイレの備蓄は、備蓄計画（災害時緊急物資備蓄計画）による備蓄を基にしているが、仮設トイレの設置は、応援協定を締結している民間業者等に協力を要請することとしている。

(委員)

災害時には、最近話題のマンホールトイレなども、あればよいと思う。

(委員)

当計画と BCP との関係、また、民間業者等のノウハウを活用する体制づくりとなる D. Waste-Net との関係等については、どの様に考えているのか。我々の団体も、D. Waste-Net に加入しているので、BCP の作成等に、この辺りの市の考え方が役立つのだが。

(事務局)

当計画の基本的な考え方として、災害廃棄物は、国・関係自治体・事業者等と、相互に協力・連携をしながら処理することとしている。なお、他市町、県、民間事業者等と協定を締結しており、協力・支援体制を構築している。BCP については、危機管理課との話になる。

(2) 高松市一般廃棄物処理基本計画について

(事務局説明)

(委員)

基本計画の目標の一つである、1 人 1 日のごみ減量は達成できているのか。

(事務局)

平成 27 年度では、達成できている。

(委員)

資源化・リサイクル率の目標達成が難しいようだが、今は、量販店等が資源ごみを回収しているので、市の回収量だけで、資源化されていないとは言えず、大きな目で見なければならない。

一世帯当たりでは、食品ロスの問題が大きいと言われているので、食品ロスを減らす取組を考えてはどうか。

(事務局)

資源化の状況等については、市の回収量だけでは計れないところがあるので、今後、考えていきたい。

食品廃棄物については、重要な課題と考えており、次期基本計画の策定に係るアンケート調査で、意識調査を行えばと考えている。

なお、平成 29 年度では、まずアンケート調査を行い、その後、当審議会で、8 月頃に大きな方向性を、年度末頃に計画の説明を行う予定。

(会長)

現行の計画を策定したときと比べて、世の中が変化しているので、それにあった指標等を考えてもらいたい。

(委員)

リサイクル率については、もっと総合的な実態を表すような調査ができればよいと思う。

地球温暖化防止推進員でも、3R に取り組んでもらうために、どの様に呼びかければよいかを議論している。

地元の説明の際に、身近なデータの方が、説得力があるので、小学校区やコミュニティ単位のごみ排出量など地元のデータが欲しい。今は、ごみステーションでイエローシールが貼られた数を記録しており、その推移を把握しているが、ごみの総量や

資源ごみの量の推移が分からない。ごみステーションごとの状況を調査すれば分かるのだろうが、そこまでの労力を負担できない。

(事務局)

収集車ごとの収集量の推移は把握できるが、収集車は色々な校区をまわるので、校区単位等での推移を把握することは難しい。例えば、香川町のごみを回収している収集車の収集量の推移であれば、把握できる。

(会長)

モデル事業として、自分達で、ごみの排出量を調べるところがあれば、啓発の意味でも効果があるので、市でも検討できるのではないかと思います。

(委員)

ごみ量の計画目標や、その達成状況を、知らない人が多いと思うので、市は、こういう目標で、こういう取組を行っているといったことをアピールしていく必要がある。モデル事業などコミュニティの取組を紹介した方が、動きがとりやすいのではないかと。

(委員)

私が言いたかったのは、地域の皆さんでは、ステーションごとのごみの総量や分別状況を把握することは負担が大きく難しいので、住民の皆さんに負担をかけるモデル事業などではなく、労力をかけずに、運搬車ごとのごみの重量など身近な数値が分かればよいなと思ったもの。

(事務局)

提供できる数値については、検討する。

目標や取組の周知・啓発についても、考えていきたい。

(委員)

参考までだが、コミュニティ単位で、収集車の火災件数や、市のリサイクル率の推移を、役員会で周知している。そういったことだけでも、各世帯に伝えて理解してもらえれば、よいと思う。また、衛生組合連合会では、ごみ減量化の取組の一つとして、生ごみ堆肥化容器の普及に取り組んでいる。

(委員)

アンケートについて、色々な年齢層が分かりやすいものにしてもらいたい、また、アンケート結果を見える化してもらいたい。

ごみ問題は、市だけで抱えるのではなく、市民や店舗が協力しないと解決しないと思うので、学校とか地区とか、クリーン作戦もあるので、色々取り組んでみると意識が高まるのではないかと思います。

(委員)

危険性廃棄物の処理について、一般家庭から出る灯油・プロパンなど、どうするのか。

(事務局)

災害廃棄物処理計画に、危険性のある廃棄物の処理方法について、主なものを記載しているので、これにより適切に処理したい。

(委員)

災害廃棄物について、一般家庭から、PCB等はないと思うが、灯油やプロパン等が出される可能性がある。これらは業者に依頼して適正に処理するのだと思うが、家庭

内にあるこれら危険性廃棄物について、普段から、きちんとしておくようなど予防措置があればよいと思う。

(事務局)

災害廃棄物処理計画には、災害廃棄物の処理について記載しており、日常生活で出される廃棄物の処理については、記載していない。危険性廃棄物の流出などを未然に防ぐために、こういった形で市民に周知できるかなどについては、また、検討させていただきたい。

(委員)

現実的に、大規模な地震など災害の規模によっては、分別やリサイクルは出来ないように思う。

(事務局)

災害時には、災害廃棄物処理計画とは別に、災害規模や災害廃棄物の排出量など状況に応じて、実施計画を立て、災害廃棄物を処理する。

災害時には、焼却施設が被災し処理能力が低下することも考えられ、また、埋立処理できる量にも限界があるので、災害廃棄物すべてを埋め立てるわけにもいかない。そういった中、災害廃棄物を適切に処理するためには、分別・リサイクルする方向で計画を立てておく必要がある。

(委員)

平時から、ごみの分別に取り組み、その必要性の理由について、説明しておくことが必要なのだと思う。

廃棄物処理計画策定に当たってのアンケートは、答えやすいもの、また、目標を見極められるような内容にしてもらいたい。

前回のアンケートでは、ごみの減量資源化に関心があるかどうかを調査しているが、関心があるかどうかと、関心のある人が実際に何に取り組んでいるかというとは、別の問題なので、そういったところを意識付けできるようなものを考えてもらいたい。

(委員)

危険物への考え方について、先程、BCPの話があったが、危険物を取り扱う企業が、BCPの中に、保有する危険物や、災害時における危険物の取扱いを記載することが、廃棄物を最小限に抑える意味で、重点をおいて取り組んでいくことではないかと思う。

(事務局)

災害廃棄物処理計画の中で、災害時に発生すると思われる主な危険性廃棄物と、その処理を行える専門業者等の情報を記載している。一度にはできないが、災害時に何が起こるかなどを含め、考えていきたい。

(委員)

超特小の指定収集袋が、高齢者の方に喜ばれている。広報による認知度については、最近になって、超特小の指定収集袋を知っているかと聞かれる状況にある。

最近、ごみが減少しているが、私自身を考えると、ごみの減量を考えての行動と言うより、ごみ袋が有料化したことで、ごみの量を少なくするために、ごみの水切りなどを実践している。日常生活において、ごみ減量に関することの優先順位は、交通安全や命に関することに比べ、後の方になるので、コミュニティなど色々なところで話してもらえればよいと思う。大きな話は、行政が中心となり、例えば、災害時に、ご

みの分別ができる場所などの地図があれば、興味が湧いてくると思う。

(事務局)

広報の仕方については、どの方、どの層に、こういった風に、広報を行えば効果的なのか、また、対応できるものなのかと言ったことを検討しながら、進めていきたい。

(委員)

私自身が10数年前に経験した水害では、どこから手を付ければよいか分からないほど、庭が散乱状態となったが、そのごみを何処に出せばよいか分からず、困った記憶がある。被災状況に応じて、実施計画を作るのだと思うが、迅速な対応をお願いできればと思う。

(事務局)

災害廃棄物の収集については、実施計画ができてからではなく、随時、対応していく。ごみの出し方や収集場所の周知など、こういった対応を、こういった形で行うかなどについては、危機管理とも話していきたい。

(3) 水銀添加廃製品回収モデル事業について

(事務局説明)

(副会長)

今でも、水銀製品があるのか。

(事務局)

水銀体温計がネットで販売されていた。過去に作られたものが販売されているのかも知れない。

(4) その他

- ・超特小サイズの有料指定収集袋の販売状況について
- ・ごみ分別アプリの配信開始について

(事務局説明)

(会長)

アプリのチラシは、どこに配布しているのか。

(事務局)

転入手続の窓口、支所、出張所で配布している。

(会長)

大学に配布をお願いすれば、大学生が見てくれるのではないかと思う。

(事務局)

大学と連携を取り、配布していきたいと思う。

(会長)

どういう人が、アプリをダウンロードしたのか分かるのか。

(事務局)

分からない。

(委員)

議題2の一般廃棄物処理計画について、危険物の取扱いを、少しでも記載することで、災害時の被害を小さくできるのではないかと思う。アンケート調査については、

関心がどこにあるか、関心がなければ、どうしたらごみが減ると思うかといった様に、考えさせるものがよいと思う。災害時のごみについて、不安・問題点・危険だと思ふことを聴けば、災害時に具体的な情報を発信しやすいのではないかと思う。

(会長)

資料では、アンケート調査の結果の図が 2 点だけだが、恐らく、色々と聴いているのだと思う。質問には、アンケートに向いているものと、向いていないものがあると思うので、アンケート調査によるものや、出前講座などの機会に市民の皆さんの声を聴くものなど、質問内容に応じた聴き方をすれば、色々な意見が聞けるのかなと思う。

(事務局)

アンケート調査については、より活かせる内容のものを考えたい。

また、出前講座などの機会も活かしたい。

(委員)

ごみの減量化目標について、どうすれば、その目標を達成できるのか、どういう生活をすれば、どのくらいのごみが出るのかなど、その辺が分かるように、我々審議会は、色々な立場の人が検討する場であるべきだと思う。減量化目標は、皆がそういったことを共有することで、よりしっかりとした形で進めていけるのだと思う。何となく、ごみを減らしなさい、これが達成できれば、また、いくら減らしなさいといったものでは、現実的にそぐわないと思う。1人当たり何gのごみを、どういった根拠で、どのくらい減らすのが正しいのか、ある程度、我々がそれを議論して、市民に説明できるよう機能しなければならぬのかなと思う。

事業系ごみの削減については、今も大手量販店等の進出予定が多くあり、進出が一家所あると、ごみが年間に何百tと増える。そういったことを考慮しながら、目標を設定しなければ、現実味がなくなる。

リサイクル率についてだが、事業系のごみは、排出するとき既にリサイクルされており、紙ごみ・段ボール・プラスチック類・アルミ・スチール缶がほとんど出てこない状況なので、主なところの、こういった情報を加味するなどしなければ、その算定は難しいと思う。事業系のリサイクル率は、その辺を考慮して算定し、より現実的な目標を設定することが肝心だと思う。

(委員)

ごみの減量化について、各家庭でこういうことをすれば、これだけ減りますと言うことを、漫画にすると分かりやすいと思う。

(委員)

ごみ袋の購入量を減らせば、よいと思うので、例えば、家庭でごみを年間 10kg 減らせば、ごみ袋代がいくら減りますよといったものが、一般の人に分かりやすいのではないかと思う。

(事務局)

目標値の設定については、国から、なかなか厳しい指針が示されているので、難しいところもあるが、きちんと理解できるようなものを組み立てたいと考えている。

漫画の使用については、コスト等の問題もあるので、検討させてもらいたい。

(会長)

この審議会は、頻繁に開催されるものではないと思うので、また何か御意見等あれ

ば、事務局にお話してください。

以上